

労働保険料算定基礎賃金等の報告
(建設業・林業労災用)

事業の名称 _____

〒 _____

所在地 _____

事業主の氏名 _____ (印)

労働保険番号

府 県	所 轄	管 轄	基 幹 番 号	枝 番 号
4 4	1 0	1 9	3 0 5 9 5	

令和 年度納付済 概算保険料	円
うち 一般保険料	
特別加入保険料	

主たる業種	事業の 種類の 番号	労災保険率 (事業開始が) H27年4月 1日～H30年 3月31日	H30年4月1 日以降
		1000分の	1000分の

① 延納の申請

1. 一括納付
2. 分割 (3回)

② 委託解除

年 月 日

作成者氏名 社会保険労務士 (印)

□ 元請工事なし ※4

③ 令和 年度中の1日
平均使用労働者数 ※1 人

必ずご記入下さい

④ 令和 年度賃金総額 ※2 千円

⑤ 令和 年度概算保険料
(特別加入保険料を除く) 円

(特別加入者の欄)

令和 年 度 確 定			令和 年 度 概 算			
承認された 給付基礎日額	加入 月数	保険料算 定基礎額	⑥特別加入者の 保険料率 ※3	特別加入者の氏名	⑦ 希望する 給付基礎日額	⑧その保険 料率
円		円	1000分の		円	1000分の

※1 元請の場合、下請の使用労働者を含みます。

(算式) 令和元年度中の $\frac{\text{延使用労働者数}}{\text{所定労働日数}}$ (端数切捨て)

元請工事の使用労働者で算定ください。すべて下請の場合で常時使用労働者がいる場合は「1人」でカウントしてください。

※2 保険料の算定方法が、支払賃金による場合。(自社で人件費の把握が可能な場合)
例: 令和元年度の全ての工事が元請工事で、自社の従業員のみ使用する場合。
請負金額で算定する場合は、④欄の記入は不要です。

※3 特別加入者の保険料率は、主たる業種のものを使用して下さい。(確定、概算とも)

※4 元請工事がない場合は□にチェックをお願いします。
この場合、一括有期事業総括表及び一括有期事業報告書の添付は不要です。

労働保険料算定基礎賃金等の報告
(建設業・林業労災用)

事業の名称 _____

〒 _____

所在地 _____

事業主の氏名 _____ (印)

作成者氏名 社会保険労務士 _____ (印)

労働保険番号

府 県	所 轄	管 轄	基 幹	番 号	枝 番 号
4	4	1	0	1930595	

令和	年度納付済概算保険料	円
うち	一般保険料	
	特別加入保険料	

主たる業種	事業の種類番号	労災保険率 (事業開始が)	
		H27年4月1日～H30年3月31日	H30年4月1日以降
		1000分の	1000分の

① 延納の申請	1. 一括納付 2. 分割 (3回)
---------	-----------------------

② 委託解除	年 月 日	年 月 日
--------	-------	-------

□ 元請工事なし ※4

③令和 年度中の1日平均使用労働者数 ※1 人

必ずご記入下さい

④令和 年度賃金総額 ※2 千円

⑤令和 年度概算保険料 (特別加入保険料を除く) 円

(特別加入者の欄)

令和 年度 確 定			令和 年度 概 算			
承認された給付基礎日額	加入月数	保険料算定基礎額	⑥特別加入者の保険料率 ※3	特別加入者の氏名	⑦希望する給付基礎日額	⑧その保険料率
円		円	1000分の		円	1000分の

※1 元請の場合、下請の使用労働者を含みます。

(算式) 令和元年度中の $\frac{\text{延使用労働者数}}{\text{所定労働日数}}$ (端数切捨て)

元請工事の使用労働者で算定ください。すべて下請の場合で常時使用労働者がいる場合は「1人」でカウントしてください。

※2 保険料の算定方法が、支払賃金による場合。(自社で人件費の把握が可能な場合)
例:令和元年度の全ての工事が元請工事、自社の従業員のみ使用する場合。
請負金額で算定する場合は、④欄の記入は不要です。

※3 特別加入者の保険料率は、主たる業種のものを使用して下さい。(確定、概算とも)

※4 元請工事がない場合は□にチェックをお願いします。
この場合、一括有期事業総括表及び一括有期事業報告書の添付は不要です。